

学校法人中京学院幼保連携型認定こども園中京こども園（以下「本園」という。）では、社会全体が人と人とが直接深く関わる機会や、その関係性について学ぶ機会の減少を痛感しています。その一方で現代では、文化が異なる国の方との関わりが身近にあり、色々な国の方との関わりを作り出す能力も求められる時代です。

この自己点検評価は、教育保育目標の達成に向けて、直接、教育保育に取り組む教職員が、在園児の成長過程等を振り返る中で、本園が提供する教育と保育の「質」を高めることを目的に行います。

1) 自己点検評価の流れ等を記載します。

実施順	評価者等	作成資料	主な内容
1	事務担当	作成スケジュール等の通知	作成スケジュールとクラス数及び園児数、教員数（自己点検評価者）、研修実績、重点実践目標（評価項目）を全教職員に園長名で通知
2	クラス担任と補助担当	園児教育・保育要録の振り返りシート	園目標、年齢目標、個人目標等、記載された事項を振り返りし、シートを作成し副園長へ提出
3	クラス担任	クラス別評価	園児の振り返りシートを基に、クラス別シートを作成し副園長に提出（振り返りシートが根拠資料）
4	主任	年齢別評価	クラス担任が作成した評価を基に、年齢別の評価を作成し、園長に提出（2と3の資料が根拠資料）
5	園長	総合評価	主任が作成した評価を基に、振り返りは各年齢別、その他は園全体を評価（4までが根拠資料）
6	事務担当	自己点検評価報告書の取りまとめ	1～5までの評価を自己点検評価書に取りまとめ、本部へ提出（園長が説明）

								令和5年5月1日時点		
区分		2歳児	3歳児		4歳児			5歳児		合計
		ひよこ組	ふじ組	あお組	あか組	きいろ組	きみどり組	しろ組	もも組	8クラス
年齢計		14	28		53			41		136
認定	教育部		7		17			27		51
	保育部		21		36			14		85
在住地	土岐市	1	5		8			13		27
	瑞浪市	13	23		44			28		108
	その他	0	0		1			0		1
備考		(再掲) 在園児総数 136名								

								令和 6 年 3 月 3 1 日時点		
区分		2 歳児	3 歳児		4 歳児			5 歳児		合計
		ひよこ組	ふじ組	あお組	あか組	きいろ組	きみどり組	しろ組	もも組	8 クラス
年齢計		12	27		51			42		132
認 定	教育部		5		16			13		34
	保育部		22		35			29		98
在 住 地	土岐市	1	5		7			12		25
	瑞浪市	11	22		43			29		105
	その他	0	0		1			1		2
備考		(再掲) 在園児総数 132名								

										令和5年5月1日時点		
区分	園長	主任	担任	補佐	保育補助	事務長	事務員	運転手	栄養士	調理員	子育て	合計
人数	1	1	9	5		1	2	4	1	1	1	26
常勤	1	1	9	2		1			1		1	16
非常勤				3			2	4		1		10
備考												
										令和6年3月31日時点		
区分	園長	主任	担任	補佐	保育補助	事務長	事務員	運転手	栄養士	調理員	子育て	合計
人数	1	1	9	5	1	1	2	4	1	1	1	27
常勤	1	1	9	2		1			1		1	16
非常勤				3	1		2	4		1		11
備考												

建学の精神 学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

中期計画 活動目標（教育及び保育関係抜粋）

4. 令和5年度評価項目と目標達成のための主なる取り組み

① 認定こども園の安定稼働化。令和6年度に向けた園児数の確保。

i) ICT導入（在園児保護者対象）に向けて

開催	参加者	開催方法
1	職員 情報施設部担当者 園長、主任 事務長	園内職員打ち合わせ ・ ICT導入（在園児保護者対象）を優先。在園児保護者の生活ニーズに対応した。園生活の情報をデジタル化して保護者に発信した。 ・ 導入に先駆け、職員間でICT導入の意図や重点的な内容を検討した。
2	在園児保護者 園長	保護者対象説明会 ・ ICT導入（在園児保護者対象）の趣旨やスケジュールを保護者に説明した。 ・ ICT導入後の個人肖像権を確認した。
3	職員 園長、主任	園内職員打ち合わせ ・ ICT導入（在園児保護者対象）のテスト期間を設けた。 ・ 在園児保護者の意見や要望を聞き取り、職員間で共有した。 ・ 職員間で作成した利用ルールを保護者にお便りで配布した。

ii) 市役所など行政等の事務連携手続き対応

開催	参加者	開催方法
1	園長 事務長	園内打ち合わせ ・ 年間の提出書類を洗い出し共有した。 ・ 監査等提出保存文書を整理した。 ・ 提出物は、本部と連携を取りながら書類作成の計画を立案した。
2	瑞浪市子育て支援課、事務長	市役所にて打ち合わせ ・ 岐阜県提出書類の確認した。疑義照会の対応を完了した。 ・ 年間のスケジュール、提出先を確認した。
3	園長 事務長 主任	園内打ち合わせ ・ 年間を振り返り、次年度の対応計画を立案した。 ・ 作成提出書類の役割を決めた。

iii) 保育園バス待合室の利用および令和6年度バス運行について

開催	参加者	開催方法
1	園長 事務長 主任 全職員	こども園・保育園職員打ち合わせ ・ こども園 バス利用者と送迎者の送迎方法を話し合った。 ・ バス待合室の園児や保護者の送迎時の動線を話し合った。 ・ バス待合室の環境を整え、共通のルールをつくった。 ・ 年度初め、実態を洗い出し、対応検討を重ね、改善策を出した。
2	園長 事務長 主任 こども園職員	園内打ち合わせ ・ 保護者からの意見や要望を集約した。 ・ 改善策を出し、実施した（保育園園庭マット・こども園西門送迎利用等） ・ 夕方遅くに迎えの園児の対応方法を検討の上、実践した。
3	園長 事務長 主任	令和6年度バス運行について打ち合わせ ・ 次年度のバス運行計画を立案した。 ・ 集合バス停候補を絞り、合理化した。 ・ 保護者への周知、希望および調査時期や方法を検討して対応した。

② 給食施設の安定した稼働化

開催	参加者	開催方法
1	職員 給食担当者 園長、主任 事務長	職員打ち合わせ ・調理後の搬出や搬入の作業動線を確認して対応した。 ・調理、配膳、搬出入に必要な用具の検討した。
2	給食担当者 園長 事務長	給食関係者打ち合わせ ・5月から始まるこども園以上児の給食運営に関する食材発注方法を検討した。 ・食物アレルギー該当児の対応について共有した。
3	給食担当者 園長 事務長	給食関係者打ち合わせ ・こども園以上児の給食運営について改善策を検討した。 ・東濃保健所 給食立ち入り検査対応について協議した。
4	給食担当者 園長	給食関係者打ち合わせ ・1年間の振り返りを行なった。 ・次年度への改善について検討した。

③ 保育者の計画的な研修の実施

開催	参加者	開催方法
1	園長 主任	瑞浪市園長会（年20回 研修会も含む）に参加した。 瑞浪市主任会（年20回 研修会も含む）に参加した。 特別支援協議会（年3回）に参加した。
2	保育者	瑞浪市教育保育研究協議会（年3回）に参加した。 前半と後半交代制 瑞浪市各園年齢別園内研（1名につき1回）に参加した。
3	新卒者	岐阜県新規採用者研修会（園外研修 年10回）取り組んだ。 〃 （園内研修 年10回）取り組んだ。
4	保育者4名	東濃ブロック研修会（オンライン）に参加した。
5	保育者2名	連携施設 中京けいめい保育園交換研修会を実施した。

5. 令和5年度評価項目の目標達成評価

評価基準 A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった

評価 区分	評価項目	評価	評価理由
1	認定こども園の安定稼働化 令和6年度に向けた園児数の確保	B	・新規HP（入園を検討している保護者対象）については、ICT導入（在園児保護者対象）を優先した。新規HPの導入は令和6年度準備期間として進めていく。 ・後期に課外教育活動の実施に向けて体制整備として、コパンとのスイミング提携を復活させた。 ・市役所など行政等の事務連携手続き対応の年間の流れが掴め、園事務と市の連携が安定する体制になった。ただし提出書類の膨大さと喫緊で提出を求められるものが多く、この1年で得た情報を令和6年度用にスケジュール化する予定。 ・瑞浪市内利用者の増加とともに、バス利用者が減少し、令和6年度バス運行および令和7年度までバス運行の合理化を図るとともに、保護者に情報共有と理解を得ることができた。 ・本園と保育園バス待合室の両園の早朝および夕方の保育が多忙を極め、保育者のコミュニケーション不足・情報共有の難しさ・保育の質の向上につながる心のゆとり・学びの場の減少が顕著に見られた。来期は運営状況を月ごとに洗い出し、その都度改善しながら整える予定。 ・保育業務のICT化にあたり、業者の選定・契約・導入・テスト期間を進めるにあたり、情報施設部のサポートのもと、円滑に導入することができた。保護者からも満足の声が多数聞かれる結果となった。
2	保育園自園給食施設の安定した連携稼働化	A	・自園給食設備の充実、補充備品を整え、調理員も確保ができ、無事に運営を開始することができた。子どもたちは、よく食べ、おかわりする子も多く、好評を得た。 ・前啓明保育園の関連業者を大きく変更せずに引き継いだため、安定した食材の発注・搬入・検収を進めることができた。保護者へは、毎月の献立とともに瑞浪市の管理栄養士が作成している給食だよりや栄養管理表も添えているため安心材料になっている。 ・保健所の監査、県の監査と年2回、現地査察に来園したが、調理担当が記録対応上の管理を徹底しているため、改善意見については速やかに対応し改善できた。 ・食材廃棄ロス、および給食運営経費の管理徹底が来期の課題となった。
3	保育者の計画的な研修の実施	B	・昼夜、子どもたちの保育の受け入れと引き渡しが続いているため、計画の情報共有に課題が生じた。夕方担当保育者・保育補助・学生バイトを動員し努力したものの、日祝日・年末年始以外は、朝から夜まで保育は動いている。その中での時間の確保、時間の有効活用、人員配置、スケジュールを立て教育保育に臨んでいく予定であり、令和6年度は、育休明けの職員が2名復職し、バス運行の本数減便、1クラスの減少、園児数の安定も踏まえ、改善に向けた1年とする。 ・未満児保育と以上児保育のスキル体得研修について、中京けいめい保育園と中京こども園2歳児担当者と交換研修を実施。振り返りからも効果を感じられた。令和6年度は単発的ではなく、継続してより研修効果があがるような計画的研修にしていこう予定であり、ICTを活用できるよう、計画的に研修を実施する。

6. 今後取り組む課題

課題	課題の内容	具体的な取り組み
1	認定こども園の安定した稼働化	・第三者委員を委嘱し、教育保育運営の全体的計画の説明・参観・懇談・振り返りの場を年間通して実施する。 ・保育現場の状況を保育者と常に話し合い、改善を行う体制づくりを実施する。その改善を図るうえで大学教員の指導を受ける機会を定期的に設ける。 ・行政機関申請、届出、報告等、各種事務業務の年間スケジュールを作成し、提出書類の準備・見直し・提出を業務分担して円滑化を図る。 ・ICTを有効活用し、業務改善および研修材料として保育の質向上を図る。保育者が自信をもって保育に力を注げるように環境を整える。
2	園運営および給食費等の収支の安定化	・園児募集における教職員の役割分担化を図る。（新規HPの作成準備を開始する） ・中期事業計画をふまえ、利用定員内の入園児の充足化を都度実施する。 ・経営運営状況の課題を月ごとに洗い出し、都度改善しながら活動する。 ・中期事業計画をもとに令和6年度以降のバス路線の方向性とバス車両運営の合理化を図る。 ・経営運営の改善策や変更点等は、在籍保護者への説明を総会およびお便りにて定期的に発信する。 ・栄養士、調理員との連携を図り、栄養面、質・量、コスト面について定期的に振り返りを行い、改善を図る。 ・給食関連業者との連携を図り、安定した給食運営体制が整うようにする。
3	保育者の計画的な研修の実施	・教育保育計画の全体共有を徹底する。 ・毎月のシフトの人員配置を工夫し、保育者同士のコミュニケーションを図る時間を設定し連携しやすい環境を整える。 ・日々の終礼、週末の全体会、月の職員会に参加できない職員への情報共有についてICTを活用する。 ・園児や地域の人との交流活動を計画化し。実施の都度、振り返り改善していく。 ・年間を通して計画的な未満児保育と以上児保育に関する研修受講を行う。（連携施設および市内幼児園）